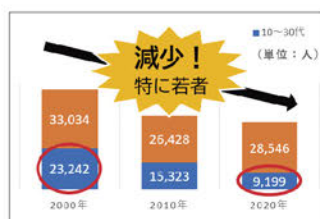


技術管理課

1 建設産業の活性化

(1) 担い手確保の取組

建設産業の担い手が減少していることから、若者に建設業の魅力を伝える出前授業や『滋賀けんせつみらいフェスタ』の実施、男女問わず働きやすい環境であることを伝える広報動画の制作など、官民が連携して、担い手確保・育成に関する施策を進めています。また、YouTubeを活用した動画配信により、建設産業の魅力を広く発信しています。



県内建設産業就業者数
(出典：国勢調査就業状態等基本集計より)



官民が連携したイベントの開催
～滋賀けんせつみらいフェスタ～



女性技術者が活躍



SNSを活用した動画配信による魅力発信

(2) 建設現場の生産性向上推進 ～情報通信技術（ICT）による効率化～

ドローンによる3次元測量や被災状況の確認、ARを活用した鉄筋出来形確認、AIによる書類チェック、ICT建設機械による自動操作、建設現場の遠隔臨場など、インフラ分野のDXを推進し、建設現場の効率化、安全性向上、わかりやすい住民説明など生産性向上に取り組んでいます。



ICTバックホウによる法面整形
(仕上げ形状データを機械に入れて自動操作)



ARを活用した鉄筋出来形確認 (上)
3次元化した被災箇所データ (下)



従来の法面の現場管理は非常に危険な作業(上)

3次元点群データを活用して、若手・女性技術者でも安全に効率よく現場管理(右)



3次元点群データ活用

(3) 建設業界の働き方改革の推進

建設現場における休日の確保のため、働き方改革の取組を進めています。

- 提出書類の簡素化と、受発注者間における資料作成の役割分担を明確化するため、マニュアル類を整備
- 毎週土日に加え、祝日も休暇日とする工事を発注
- 柔軟な工期設定が行える余裕期間制度の導入



2 社会の変化やニーズに応じた公共事業の推進

(1) グリーンインフラの推進

グリーンインフラとは、自然が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある地域づくりを進めるためのインフラ整備や土地利用の考え方のことです。

誰もがグリーンインフラを理解して実践するために、「滋賀のグリーンインフラ取組方針」を策定しました。地域の風土を活かして多様な主体（行政・住民・民間企業など）が連携し、様々な地域課題の解決に向け取り組んでいきます。

滋賀のグリーンインフラ取組方針



(2) 技術系職員の技術力向上

自然災害の激甚化・頻発化や社会資本の老朽化など、社会を取り巻く環境が大きく変化しています。県の土木技術者には、専門的な知識や技術だけではなく、様々な課題を解決しようとする意志力・行動力が求められています。そのため、政策や時事をテーマとしたグループディスカッションを取り入れた研修も行っています。



研修状況